

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 30日

事業所名 きらめき大湾

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	1	児童が多い日は狭く感じる。	指導訓練室のスペースを確保するためにリフォームを検討中。
	2	職員の配置数は適切である	4	4	0	児童のその日の調子によって、人員が不足と感じるときがある。	人員の増加を検討中。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	4		身体に障害を持つ利用児がいないので、現在は検討なし。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	0	毎週事業所会議を設けて、業務改善に努めている。	職員全員が出席できるように出勤調整をする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	0	貴重なご意見を参考に業務改善に努めています。	意見箱を設置し、保護者からの意見を伺い、迅速に対応を心掛ける
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	0		事業所内は3月19日に実施予定、社外には4月にHPにて公開予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	0		外部評価は行われていない。今後、事業所の資質向上のため第三者による外部評価を検討していきたい。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	毎週、一回業務前に15分の研修を実施している。	コロナ収束後は外部講師を招き、さらにケアの資質向上を図る機会を増やすよう検討する
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0		モニタリング内容をまとめ職員で共有し、支援会議にてチームで計画を作成
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	0		アセスメント評価を職員に周知し、適切な対応をしていく必要がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0		毎月、支援会議にて作成
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	0	室内外の活動内容を担当に振り分けて、固定化しないように、考案している。	児童が飽きないように活動に変化を持たせていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	0		地域イベント等確認話し合って決める。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	0		個別活動(知的・身体)で対応できない場合はグループで活動。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0		全員の時間確保が難しい場合は、事前に役割を決める。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0		毎日10分程度支援の振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0		日報に個別の支援記録を記載。その際、できたこと、できなかったことを記載することで、振り返りが可能な状態にしています。
適切な 支援の 提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	0	毎週月曜日の午前中に計画書の評価、見直しを行っている。	上記の日報を基に、達成状況を確認しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	3	0		ガイドラインの読み合わせを行ってきたい。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	0		相談員や専門性の高いスタッフが参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0	学校との連携は毎月確認して、対応している。	連絡帳を用いて、学校の行事等を保護者から聞き取り、職員に周知する

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	8	0		現在、医療的ケアの必要な児童は利用していないが、必要に応じて検討する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	0	次年度の未就学からの移行には必ず、担当者会議には参加している。	保育所訪問以外に、相談員や保護者からも就学前の様子を聞き取っています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2	0		必要に応じて、相談員等に支援記録やアセスメント等の情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	0	年に何度が研修等には参加している。	他のスタッフが積極的に参加出来るように、情報発信をしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	3	0	毎週2回は児童館に遊びに行っている。	コロナの影響で児童館に行けない日もありました。感染予防をしながら児童館と連携を取っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	1	7		一度も参加したことがないので、来年度は参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	連絡ノートを活用して保護者様とやり取りしている。	連絡帳を用いて、学校の行事等を保護者から聞き取り、職員で共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	2	6		ペアレント・トレーニングについて情報を収集する。
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	0		毎週1回研修に参加し、それ以外にも参考書等で勉強。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	0		適切な支援の方向性を知るため、家庭では見せない児童の様子を随時報告し、定期的に面談や助言を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	0	毎年3回交流イベントがある。保護者向けセミナー、BBQ、クリスマス会。	今年はコロナの影響で保護者会を実施できていない。次年度は感染予防をした上で実施できるか検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	0		連絡帳や、送迎時での保護者との会話の中でこまめに報告しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	0		連絡帳を用いて、学校の行事等を保護者から聞き取り、職員に周知し、保護者に対しても連絡帳やホームページにて発信しています
	35	個人情報に十分注意している	8	0	0		個人ファイルに関する書類は、鍵付きキャビネットに保管されています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0		絵、カード等、様々な工夫して児童、保護者とのコミュニケーションを取っています
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8	0		地域に開かれた企画内容を考えてみる。	
非常時 等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2	0		防犯対策について、研修を実施していく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	0		年2回実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	0	虐待防止の研修を行っている。	水曜日の職員研修にて実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1	0		現時点において、同意書はすでに作成しているが、該当児童はなし。しかし、やむおえず、該当児童が発生した場合、保護者に3つの条件を説明し理解を図る。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	7	0		保護者からの説明だけで対応している。医師の指示書までは詳細に確認していない。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	0	ヒヤリハットがある際は、書類作成をし、防止対策を共有している。	作成しファイルに保管済みだが、職員への周知が不十分なため周知を図る	